

姫川出張所だより Vol.1

～ The Report From HAKUBA ～

平成26年7月吉日発行
 国土交通省北陸地方整備局
 松本砂防事務所 姫川出張所
 TEL:0261-72-2254 FAX:0261-72-3544
 HP:http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto



当出張所の紹介です

姫川流域は、美しい自然が多く残るすばらしいところですが、近年の平成7年7月11日の梅雨前線豪雨災害をはじめ、過去から多くの土砂災害が発生してきました。姫川出張所では、このような記録的災害に対応する施設整備を行っています。

まずは、現在行っている整備工事を簡単にご紹介させていただきます。各工事の進捗状況等については今後の出張所だよりにてお知らせします。

姫川流域の特徴

姫川は、長野県白馬村佐野坂に源を発し、途中において飛騨山脈等を水源とする土砂流出の激しい急流支川と合流しつつ、新潟県糸魚川市で日本海に注いでいます。上流域は急峻な山岳地帯で、土砂流出の激しい支川が多く扇状地を形成しています。中流域では稗田山などの崩壊地から多量の土砂が生産され、姫川に流入しています。本州を東西に分断する大断層「糸魚川ー静岡構造線」にほぼ沿って流れる姫川は、日本有数の災害の絶えない急流河川です。

当出張所は新潟県糸魚川市内を流れる小滝川、根知川、大所川と長野県の小谷村に流れる浦川、白馬村の松川の事業を推進しています。



糸魚川地域の工事

姫川中下流部に位置する糸魚川地域では3支川の整備を行っています。

小滝・大所川はヒスイ境などの景勝地となっていますが、多数の地すべり地形を抱えています。根知川は下流・中流域に住居区があり、土砂生産も多いことから保全対象となっています。

- 糸魚川地域で稼働中の工事(H26.7現在)
- ①中股第3号砂防堰堤工事
創和ジャステック建設(株)
 - ②小滝瀨野田砂防堰堤その2工事
(株)後藤組
 - ③小滝瀨野田砂防堰堤上流護岸工事
(株)後藤組
 - ④大所第2号上流第2砂防堰堤改築工事
(株)笠原建設
 - ⑤大所第9号
砂防堰堤資材運搬道路その3工事
(株)谷村建設
 - ⑥葛葉下流山腹工法面工その5工事
(株)笠原建設
 - ⑦葛葉下流山腹工法面工その6工事
北陽建設(株)



小谷・白馬村内の工事

姫川中上流部に位置する白馬・小谷地域では2支川の整備を行っています。中流域の浦川は明示44年(1911年)の稗田山の大崩壊は日本3大崩れの一つに数えられるほどです。大規模な崩壊は過去3回にのぼり、その崩壊土砂は約1億5千万m³とされています。現在もなお、堆積した崩壊土砂が引き金となり、土石流が頻発する河川です。



- 小谷・白馬地域で稼働中の工事(H26.7現在)
- ①湯ノ入沢砂防堰堤改築その3工事
姫川・落田経常JV
 - ②南股上流砂防堰堤改築その5工事
金森建設(株)
 - ③北股下流砂防堰堤改築工事 (株)相模組
 - ④猿倉砂防堰堤その3工事 (株)相模組

- ⑤金山沢工食用道路その2他工事 (株)傳刀組
- ⑥浦川2号上流砂防堰堤その3工事
金森建設(株)
- ⑦浦川下流第1号砂防堰堤補強その4工事
(株)相模組
- ⑧浦川砂防堰堤改築工事 (株)鷺澤建設
- ⑨浦川下流工食用道路工事 (株)北野

上流域の松川・平川は北アルプスに水源を持つ急流河川で、水源山地の荒廃は甚だしく、豪雨等が発生するたびに上流からの氾濫や土砂流出によって繰り返し被害を受けてきた河川です。なお、平川は高瀬川出張所にて整備を行っております。この工事についても今後ご紹介できればと存じます。

出張所管内でのできごと

表面は少し堅苦しい内容で申し訳ありませんでした。裏面では、今年度7月までの間に出張所管内で起きた出来事をご紹介します。

砂防現場の小さい命

葛葉下流山腹工法面工その5工事においてこんな出来事がありました。

昨年12月より冬期間の工事休止を経て3月に再開したところ、施工途中の法面工において、キセキレイの巣を確認しました。

そこに命があれば守らなければならないのが砂防技術者としての宿命！と、感じた工事担当者は、斜面保護のための金網(専門用語で「ラス網」と言います)を開き、巣の移設を行いました。親鳥にも配慮し、巣を徐々に移動することで、親鳥は巣を放棄せずに子育てを継続してくれました。



④工事再開時。金網の裏にキセキレイの巣が。さあ、どうする？



⑤金網を解放し、雛ごと巣箱へ移します。
⑥⑦徐々に施工済の箇所へ巣箱を移動し、急激な環境の変化を緩和します。
⑧移設後の巣箱の状況。雛は元気でした。



キセキレイ:スズメ目セキレイ科。主に渓流などの水辺に生息する。

⑨左側の写真が土石流発生直前の状況。右側の写真が土石流による埋没状況。金山沢の現場は土石流が土のう仮締切(流水を誘導する仮の堤防)を越え、施工中の護岸前面に堆積しました。その下流で施工中の浦川2号上流の現場でも仮締切水路いっぱいまで堆積し、流水方向を変えるほどの威力でした。



浦川土石流発生！！

平成26年6月10日の22～23時の間に12mm/hの降雨を観測しました。少量の降雨でありながら、降雨は土石流を誘発し、管内の現場の一部を土砂で埋め尽くしました。土石流の原因は、残雪の融雪水と相まって地盤内へ浸透する水が一時的に多くなり、崩壊の原因となったと推測しています。

現場では、土石流発生時の迅速な避難にそなえ、現場上流部に監視員を配置し、さらには振動センサーを設置しており、土石流に対する安全対策に万全を期しています。こうした対策と事前準備もあり、現場は少しの手戻りだけで済みました。

白馬の土木技術者(の卵)

去る、平成26年7月8日、長野県立白馬高校より地元土木分野への進路を志す学生4名が、松川右支川上流湯ノ入沢砂防堰堤改築その4工事の現場を訪れました。

地元建設企業である姫川・落田JVの山口氏と勝野氏が砂防工事に携わることで役割、地元への貢献、砂防がこの白馬村の発展に寄与する着火剤となった歴史など、この仕事に就くことの喜びについて熱く語りました。勝野氏は、「きつい・汚い・危険」の3Kとして定着した土木のネガティブイメージを「感動・感謝・貢献」に変えていくのは若い技術者である君たちだ！と締めくくりました。

当出張所長も新潟の大河津分水路自在堰補修工事の責任者である青山士(あおやまあきら)が同補修工事への想いを碑文に残した言葉「万象二天意ヲ覚ル者ハ幸ナリ」(仕事や学業、自分が今取り組んでいるもの全てに天職として喜びを感じられる人は幸せです)の言葉で、今後の土木業界を担うことになる若手達にエールを送りました。



⑩現場見学。土石流に対する安全対策について、センサー等の配置状況を示し、現場の危険なイメージを払拭します。



毎朝、白馬高校の除雪をしているのは私だ！(上から目線)

⑪現場事務所にて座学。勝野氏は砂防に対する熱い思いをぶちまけます。

編集後記

⑫大雪渓と白馬岳。5月末でありながら残雪が多い！！



⑬雪形(ゆきがた)。あなたには白馬が見えますか？

ここでは白馬村自慢、周辺のちょっとした出来事などの日々のつぶやき、その他告知などを行って参ります。

さて、今回は・・・5月31日(土)に猿倉登山口にて行われた一大イベントの紹介です。白馬連峰夏山開山祭、正式名称「貞逸祭(ていつさい)」が行われました。

貞逸祭は、白馬岳に山小屋を整備するなどの功績を残した山岳観光の先駆者、故 松沢貞逸を偲び毎年初夏に行われ、夏山の登山客の安全を祈願するもので、今年で48回目。今回は(も)、地元のアルプホルン奏者による演奏と、コーラス隊による登山賛歌で開山を祝いました。姫川出張所からは亀山出張所長が安全祈願に参加しました。開山後、訪れた登山客達(所長含む)は白馬大雪渓までの初トレッキングを楽しみました。